「令和２年度に実施した仕事」の振返りシート（Ａ：裁量有）

記入日　令和　３ 年　３ 月 24 日

事業名称	子ども・子育て支援会議運営費［子ども・子育て支援会議運営事業］										
予算科目	款	３	民生費	項	２	児童福祉費	目	１	児童福祉総務費	事業番号	８
事業の種別	☑ 市単独　☐ 補助対象　☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）										
担当部署・課長名	保育　課　管理・給付　係								課長名	榎本　豊	

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	２ － ４
【施策名】 児童福祉の推進	総合計画書（ページ）	59

１ この仕事の目的

❶ 誰（何）を対象にしていますか。		1 ❶の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）
子ども・子育て支援会議委員	→	１１人
❷ ❶をどのような状態にしたいのですか。［簡潔に］		**2 ❷の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）**
①市長に諮問された案件に係る議事等を検討する ②子ども・子育て支援事業計画の点検・評価をする ③東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）を制定及び発表する。	→	①～③に係る会議を４回開催した。
❸ そのために何をしましたか。		**3 ❸をどのくらい行いましたか（活動指標）**
①議事を審議するための資料作成を行った ②会議が円滑に進行できるように、会長と事前打ち合わせを行った ③当日の会議準備と事務局説明を行った ④議事録を作成した ⑤正副会長から答申を行った ⑥東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）の啓発活動をした	→	会議の開催回数　４回 市長への答申　　１回

２ 指標の推移

		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
			平成３０年度実績	平成３１年度実績	令和２年度実績	令和２年度目標	令和３年度目標
対象指標	1の数値	人	11	11	11		
成果指標	2の数値	回	5	5	4		
目標	2の目標値	回	5	5	4		
	目標値設定の考え方						
	１年間に予定される内容に応じた開催回数						
活動指標	3の数値	回	会議　５回 答申　１回	会議　１５回 答申　２回	会議　４回 答申　１回		

３ 経費

		単位	過去2年間の実績		当該年度
事業費（実績）		円	3,223,524	3,080,566	1,823,028
財源	一般財源	円	3,223,524	3,080,566	1,123,028
	特定財源	円			700,000
	（うち受益者負担）	円			
人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.4	1.0	0.3
	所要人数(再任用)	人			
	職員人件費(再任用以外)	円	3,297,600	8,310,000	2,514,000
	職員人件費(再任用)	円			
事業費＋人件費		円	6,521,124	11,390,566	4,337,028

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
人件費（再任用職員以外）
年間単価は、 8,310,000 円
時間単価は、　 4,300 円
で計算してください。
【算出根拠】平成30年度決算数値。
(退職手当組合負担金、共済費も含む。)

４ 環境変化等

（１）開始年度　25　年度

（２）環境の変化

当会議の立ち上げ時は、「子ども・子育て支援事業計画」の策定が中心であったが、左記計画の計画期間が平成３１年度に終了することから、次期計画の策定に向けた準備が必要になった。そのため、平成３０年度には、新計画策定の準備として「東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査」を実施した。また、平成３１（令和元）年度は、これまでの「子ども・子育て支援事業計画」、「放課後総合プランに基づく行動計画」に加え、新たに「次世代育成支援計画」、「子ども・若者計画」、「子どもの貧困対策計画」を包含した「東大和市子ども・子育て未来プラン」の策定を行った。
さらに、令和２年度は、市制５０周年記念式典での公表を目指し、「東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）」の制定にも取り組んだ。

事業名称	子ども・子育て支援会議運営費［子ども・子育て支援会議運営事業］		
担当部署・課長名	保育　課　管理・給付　係	課長名	榎本　豊

5 市民等の意見	この仕事に関して、**令和２年度中**に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	第１期東大和市子ども・子育て支援事業計画の５ヵ年全体の評価を参考に「東大和市子ども・子育て未来プラン」の施策の推進をするよう答申されている。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）
	☑ 取り組んだ ☐ 取り組まない 取組手法：⑥ 【取組手法の種類】 ①共催　②実行委員会・協議会　③事業協力　④事業委託　⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：　　）⑦後援・場の提供　⑧その他（　　）
	(2)令和３年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点
	「東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）」を令和２年度に公表したため、その後の普及・啓発方法について、子ども・子育て支援会議委員とともに検討を行い、啓発に努めていく。
7 課題	(1)令和２年度に課題とした内容（「平成３１年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題（3）を転記）
	「東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）」を公表する市制５０周年記念式典には、代表の小中学生にも参加していただくことを想定しているため、引き続き小中学校と連携が必要となる。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成３１年度に実施したこと。
	「東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）」の発表及び啓発活動において、小中学校の他子育てに関わる市内事業者等と連携を図れた。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）
	「東大和市子どもと大人のやくそく（東大和市子ども・子育て憲章）」の啓発活動には、引き続き小中学校他子育てに関わる市内事業者との連携が必要となる。
8	施策貢献状況　（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）
	施策名：　児童福祉の推進 ☑ なっている　☐ 環境の変化等により成果が減少している　☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名：　　）
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7　課題（3）」の課題及び「8　施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）
	☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 縮小　☐ 休止　☐ 廃止 【取組内容】 啓発活動をしていくにあたって、憲章の内容を理解していただき、協力をもらえるよう事前の調整が必要となってくる。
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
	校長会等への事前の協力依頼が必要となる。